

官民境界確定図

W=12.0 H=12.0 D=0.00

- 4m以下で対側地が確定している場合
対側地の立会及び署名省略可能。
対側地を突線、三料を入れて確定図に記載すること。
ただし、確認測量を行い、過去の資料と既設の杭にズレがないことを確認する。
- 4m以上で対側地が確定・未確定の場合
対側地は点線とし、幅員を記載する。
既設杭の記載については特に指定しない。

トラバー点についても記入すること
民有地についての座標値は記入しない

与点の座標

点名	X	Y
3	20.000	0.000
7	20.000	-5.000
11	20.000	-15.000
8	20.000	-10.000
14	25.000	-18.000
13	0.000	-17.500
12	0.000	-15.000
4	20.000	20.000
25	-1.000	-15.000
17	1.000	-12.000
18	0.000	-12.000
19	-1.000	-8.000
20	-3.000	-8.000
1	0.000	0.000
2	-1.000	0.000
T1	15.000	-16.500



12-2

11-3

対側地の側点の場合は点線で記載する

区画整理、圃場整備地区及び4.0m以上の場合は
対側地の立会省略。現況を測点で記載する。

民有地の旨を記載



街区基準点や国交省、三角基準点等の場合にはその杭のNO.点を記載する

1-4

申請地

2-2

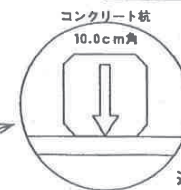
境界保留の場合は一点斜線等で記載する

引照点現況図は2点以上記載する

民有地は確定していても破線とする

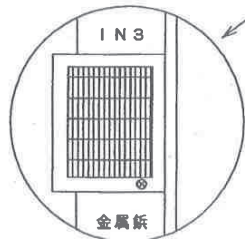
民有地の距離は記載しない

引照点現況図は2点以上記載する



道路幅が狭く引照点が設置しにくい場合は永久杭にて代用

官民杭を兼ねる場合も記載する



境界の道路幅を記載する

境界の道路幅を記載する

※必ず記載する

6-2

境界の道路幅を記載する

対側地

必ず記載する

引照点の座標一覧

点名	X	Y	引照点の種類
IN1	20.500	10.000	道路側溝(金属板)
IN3	0.000	-15.500	兼水樹(金属板)
IN4	24.800	-17.500	金属板
1	0.000	0.000	コンクリート杭

必ず記載する

(この表紙にてお願いします)

境界点	境界線の種類
田	コンクリート杭
田	プラスチック杭
田	金属プレート
田	金属板
田	木杭
田	刻印(キザミ)
田	計算点
田	トラバー点
田	現況点(マーキング)

図面の種類	官民境界確定図		
所在	蒲郡市〇町〇番地		
座標系	世界測地Ⅷ系座標	縮尺	250分の1
作成年月日	令和〇年〇月〇日		
立会日及び受付番号	令和〇年〇月〇日		
作成者	〇〇事務所 土地家屋調査士 〇〇〇〇 蒲郡市〇町〇番地 Tel.0533-00-0000		